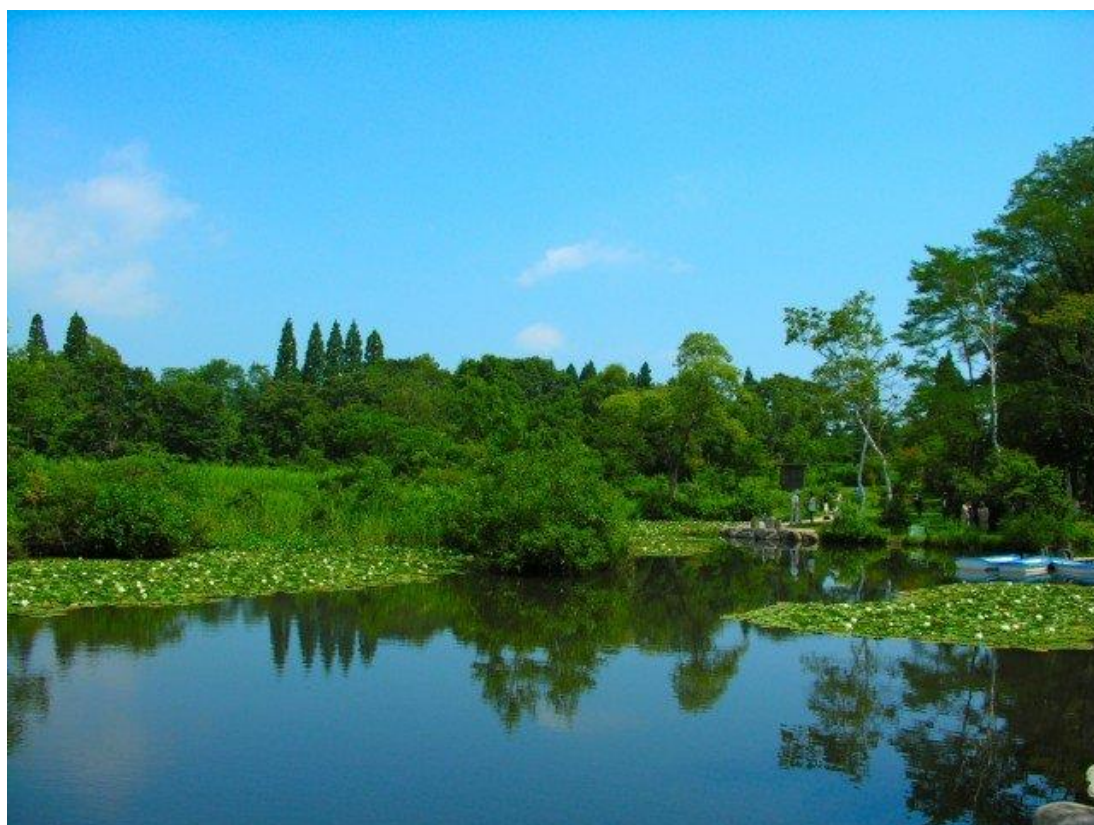


環境経営レポート



有限会社早川プラスチック工業所

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

発行日：2024年7月30日

(2025年1月8日改訂)

1. 組織の概要

- ・事業所名及び代表者名

有限会社 早川プラスチック工業所

代表取締役 早川 智道

- ・所在地

本社・工場：東京都品川区荏原 1 - 2 5 - 7

第二工場：東京都品川区荏原 1 - 1 8 - 1 0

- ・環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：代表取締役 早川 智道

担当者：早川 康茂 TEL：03 - 3781 - 5410

- ・事業活動の内容

通信機の部品や計測器などのプラスチック部品の製造・販売

- ・事業の規模

製品の生産量・出荷額： 7,055 万円／令和 5 年度

従業員数： 12 名

延床面積：315 平方メートル

創業日時：1951 年（昭和 26 年）

2. 対象範囲

- ・登録組織名：「有限会社 早川プラスチック工業所」の全組織・全活動

- ・対象事業所

本社・工場：東京都品川区荏原 1 - 2 5 - 7

第二工場：東京都品川区荏原 1 - 1 8 - 1 0

3.環境経営方針

環境経営方針

【基本理念】

当社は、社員一人一人が地球環境および地域環境の保全が人類共通の課題であることを認識し、環境負荷の継続的な削減及び持続的な発展が可能な経済社会の実現に寄与するべく、全社一丸となって取り組みます。

当社は、全ての事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識した上で、全事業活動において環境関連法規を遵守すると共に、以下の環境保全活動を推進します。

【行動指針】

1. 各種プラスチック製品の製造を通じて、二酸化炭素の発生抑制に取り組みます。
2. 各種プラスチック製品の製造を通じて、廃棄物の発生抑制に取り組みます。
3. 各種プラスチック製品の製造を通じて、節水に努め、排水量を低減します。
4. 各種プラスチック製品の製造を通じて、化学物質の適正管理に努め、使用量の削減に取り組みます。
5. 各種プラスチック製品の製造を通じて、資源循環型社会の形成に取り組みます。
6. 各種プラスチック製品の製造を通じて、地域との共存、地域との共栄に取り組みます。

改定日 2020年3月28日

制定日 2011年7月25日

有限会社 早川プラスチック工業所

代表取締役 早川 智道

4. 環境経営目標

	基準年度	単年度目標	中期目標
	2017 年※	2023 年度 (2023/4~2024/3)	2024 年度 (2024/4~2025/3)
1. 二酸化炭素排出量削減	2022 年度再設定 電気・ガソリン→2024 年度末に於いて、基準年度-8%を目標とする。		
・電気 (Kg-CO ₂)	37,336	△7.0% (34,723)	△8.0% (34,349)
・ガソリン (Kg-CO ₂)	3,399	△7.0% (3,161)	△8.0% (3,127)
・CO ₂ 合計 (Kg-CO ₂)	40,735	37,884	37,476
2. 廃棄物排出量削減	2022 年度再設定 ・一般廃棄物→累計廃棄量を 60 k g 維持とする（上限は+3%、削減目標は-3%） ・産業廃棄物→2024 年度末に於いて、基準年度-6%を目標とする。		
・一般廃棄物 (k g)	59	59±3% (58~62 k g)	59±3% (58~62 k g)
・産業廃棄物 (k g)	7,230	△5.0% (6,869)	△6.0% (6,796)
3. 水使用量削減 (m³)	2022 年度再設定 →2024 年度末に於いて、累計 m ³ は基準年度-8%とする。		
	186	△5.5% (175.8)	△8.0% (171)
4. 環境対応工法	—	金型確認 金型整備・改修 新規金型の軽量化	金型確認 金型整備・改修 新規金型の軽量化
5. 環境教育	—	年 2 回の教育実施	年 2 回の教育実施

※1 基準年度は、2017 年 4 月～2018 年 3 月（2017 年度）

※2 CO₂ 排出係数は、2016 年度実績 東京電力エナジーパートナー(株)調整後排出係数 0.474kg-CO₂/kWh を使用した。

5.環境経営計画

環境経営目標	基準年度 ※1 2017 年	2023 年度目標 (2023/4～ 2024/3)	環境経営計画
1. 二酸化炭素排出量削減			
・電気 (Kg-CO2)	37,336	△7.0% (34,723)	①生産工程の待機時間合理化 ②空調温度の適正化（冷房 28℃、暖房 20℃） ③空気圧縮機のエア漏点検・修理
・ガソリン (Kg-CO2)	3,399	△7.0% (3,161)	①効率的なルートで配送 ②アイドリングストップ、急加速・急停車の防止 ③冷暖房の控え目使用
・CO2合計 (Kg-CO2)	40,735	37,884 (△7.0%)	
2. 廃棄物排出量削減			
・一般廃棄物 (kg)	59	59±3% (58～62 kg)	①分別の徹底 ②廃紙のリサイクル化 ③梱包材・緩衝材の再利用 ④通い箱使用の拡大
・産業廃棄物 (kg)	7,230	△5.0% (6,869)	①素材別ボックスの設置 ②作業ミスによる廃棄量の削減
3. 水使用量削減 (㎡)	186	△5.5% (175.8)	①節水呼びかけの強化 ②水廻り水漏れの点検
4. 環境対応工法	—	金型確認 金型整備・改修 新規金型の軽量化	①金型確認（台帳整理） ②スプルグ・ラッパ・ラッパ・ゲートの変更・修理 ③不良金型整備・不要金型整理
5. 環境教育	—	年 2 回の 教育実施	①環境経営方針説明・分別手順の確認 ②清掃

※1 基準年度は、2017 年 4 月～2018 年 3 月（2017 年度）

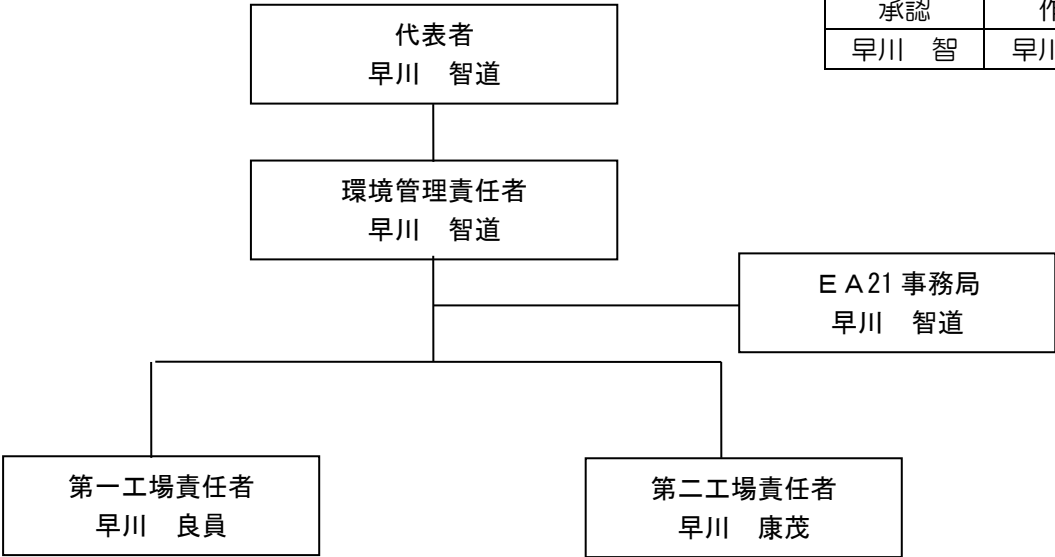
※2 CO2 排出係数は、2016 年度実績 東京電力エナジーパートナー(株)調整後排出係数 0.474kg-CO2/kWh を使用した。

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

環境経営計画	取組内容
二酸化炭素排出量削減 【電気】 ①生産工程の待機時間の合理化 ②空調温度の適正化 (冷房 28℃暖房 20℃) ③空気圧縮機のI7洩れ点検/修理	- 作業前確認により金型準備効率化実施済。 - 同一材料、同系統色にて生産計画立案・実施済。 - 空調は必要に応じて適温・適宜使用している。 - I7漏確認→緩み増締・再接続及び修理済。 - 加熱用ヒーター点検・整理、再配線実施。
二酸化炭素排出量削減 【ガソリン】 ①効率的なルートで配送 ②アイドリングストップ、急加速・急停車の防止 ③冷暖房の控えめ使用	- 時間・方向統一、効率考慮の営業活動実施。 - エコドライブ 10 のすすめ車載、エコドライブ 実行済。 - 冷暖房 20℃—28℃設定、窓開放・衣類調整実行済。 - ノーマル・スタッドレスタイヤ交換済(スリップマーク確認済) - 空気圧チェック実施、記入済。
廃棄物排出量削減 【一般廃棄物】 ①分別の徹底 ②紙のリサイクル ③梱包材・緩衝材の再利用 ④通い箱使用の拡大 ⑤替え芯によるペン再利用	- 分別・リサイクルの実施。 - 作業ミス廃棄量の削減を行った。 - 感熱紙裏紙再利用を実行中。 - 通い箱(コンテナ)利用実施。 - 替え芯・インク補充によるペン再利用実施。
廃棄物排出量削減 【産業廃棄物】 ①素材別ボックスの設置 ②作業ミスによる廃棄量の削減	- 製品シート活用による作業確認実行。 - 条件表は適宜追記・修正・整理、継続実施。
水使用量の削減 ①節水呼びかけの強化 ②水廻り水漏れの点検 ③機械裏の配管点検	- 工場内設備見直しは継続して実施。 - 清掃時の機械裏確認、点検済。 - 水道料金表による使用量増減の確認実施。
環境対応工法 ①金型確認(台帳整理) ②スプリング・ランナー・ゲートの変更、修理 ③不良金型整備・不要金型整理	- 金型台帳整理継続実施。 - 新規金型作成時に打合せて確認している。 - 不良金型の修理、不要金型は廃棄実行。
環境教育の実施 ①環境方針説明・分別手順の確認 ②清掃	7月と12月、年2回実施済。

・環境管理体制実施表

書式作成 2011/8/30	
承認	作成
早川 智	早川 康



役職	責任及び権限
代表取締役社長	1.環境管理責任者の任命 2.環境経営方針の制定 3.環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備 4.環境経営システムの定期的見直しの実施 5.社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1.環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2.社長への環境経営システムの実施状況報告 3.諮問機関である環境委員会の委員長として委員会の運営 4.それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5.環境関連法規の遵守確認
E A21 事務局	1.エコアクション推進の事務局 2.環境経営目標・環境経営計画/実績表の作成 3.環境関連の外部コミュニケーションの窓口 4.環境経営レポート作成 5.エコアクション 21 文書の作成（保管期間を 5 年とする）
工場責任者	1.環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施、維持、継続的改善する
全従業員	1.環境経営方針の理解と環境への配慮の重要性を自覚する 2.決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加する

（回覧ルート）社長→部門責任者、環境管理責任者

改版履歴

版数	改訂理由	改訂月日	承認	作成
6	環境方針→環境経営方針等 ガイドライン 2017 年度版に対応修正	2019/2/25	早川 智	早川 智
5	エコアクション 21 文書保管期間を追加	2018/2/4	早川 智	早川 智
4	役職、責任及び権限に全従業員追記	2017/2/25	早川 智	早川 智
3	E A21 事務局氏名・役割等追記	2016/1/31	早川 智	早川 智
2	環境担当者変更	2012/3/1	早川 智	早川 智

7ー①.環境経営目標と実績・取組結果とその評価

・目標及び12ヶ月運用結果（2023年4月～2024年3月）

	基準年度 ※1 2017年	目標	12ヶ月実績	目標達成状況
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 (kg-CO2)	37,336	△7.0%(34,723)	25,821 (-31%)	○
・ガソリン (kg-CO2)	3,399	△7.0% (3,161)	2,430 (-29%)	○
・CO2合計 (kg-CO2)	40,735	37,884(△7.0%)	28,251 (-26%)	○
2. 廃棄物排出量削減				
・一般廃棄物 (kg)	59	59±3% (58～62kg)	62 (+3%)	○
・産業廃棄物 (kg)	7,230	△5.0%(6,869)	2,650 (-63%)	○
3. 水使用量削減 (㎡)	186	△5.5% (175.8)	167 (-11%)	○
4. 環境対応工法	—	金型確認 金型整備・改修 新規金型の軽量化	台帳整理・新型作成 金型整備・改修 金型返却・廃棄	○
5. 環境教育	—	年2回の教育実施	7月/12月実施	○

○目標達成 △目標未達成但し基準年度より改善 ×目標未達成

※1 基準年度は、2017年4月～2018年3月（2017年度）

※2 CO2 排出係数は、2016年度実績 東京電力Iガ-パ-トナ(機)調整後排出係数 0.474kg-CO2/kWh を使用した。

・取組結果とその評価

1.二酸化炭素排出量削減	取組結果と評価
・電気	○目標達成 ・製品ソートを利用、金型準備効率化。同一材料・同系統色を優先し生産計画・実施。 ・空調適宜使用。扇風機・工業扇活用。空気圧縮機・周辺IP洩れの修理・再接続済。 ・生産調整、受注減・大型製品成型減から使用量は基準年比ー31%となった。
・ガソリン	○目標達成 ・外出ルートは統一、納品含め効率的ない営業活動を実施。 IDドライブ、冷暖房設定の20-28℃、窓解放や衣類調整は継続して実施した。 ・ノール・スタッフリタヤの交換OK、スリップマークチェックも点検時実施。 ・大型製品運搬減少もあり、基準年度-29%となった。
2.廃棄物排出量削減	取組結果と評価
・一般廃棄物	○目標達成 ・分別・リサイクルは継続して実施している。 ・作業ミスの確認・廃棄量削減取組は引き続き実行中。
・産業廃棄物	○目標達成 ・製品ソート活用による作業前確認。成型条件表の整理による作業ミ削減継続。 ・生産調整、大型成型品生産減少により不具合品発生時の廃棄物が減少。 ・生産調整が長引いている為、機械稼働低下、基準年比-63%と大幅な減少。 結果として目標を達成している。

3.水使用量削減	取組結果と評価
	○目標達成 - 工場設備は確認、水漏れ無し。過去漏水箇所を再確認、漏水無し。 - 本年度は継続した製品生産減少に伴い、成型機稼働率は60～70%で推移、結果11%削減となった。
4.環境対応工法	取組結果と評価
	○目標達成 - 金型台帳整理継続、新型作成6型、不要金型整理も引き続き実施。 - 新規金型6件、不良金型修理25件、不要金型廃棄・返却5件。
5.環境教育	取組結果と評価
	○目標達成 7月、12月、年2回実施済。 - E A21 の状況、会社を取り巻く状況について。 - 製品の品質管理と機械の使用方法・状態について。 - 次工程へスムーズに引き継げる品質管理について考える。

7-②.次年度（2024 年 4 月～2025 年 3 月）の環境経営目標と経営計画

環境経営目標	基準年度	次年度目標	中期目標	次年度の取組内容
	2017 年 ※1	2024 年度 (2024/4～ 2025/3)	2026 年度 (2026/4～ 2027/3)	
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 (Kg-CO2)	37,336	△8% (34,391)	△12% (32,856)	・目標△8.0%にて取組。 ・効率生産検討の継続実施。 ・取出機17浅、ダンプ-不良→修理・再配管・新設等対策。
・ガソリン (Kg-CO2)	3,399	△8% (3,127)	△12% (2,991)	・目標△8.0%にて取組。 ・エコドライブ継続。 ・効率ルート活用継続。 ・近距離の自転車移動。
・CO2合計 (Kg-CO2)	40,735	37,518	35,847	
2. 廃棄物排出量削減				
・一般廃棄物 (k g)	59	59±3% (58～62 k g)	59±3% (58～62 k g)	・分別・リサイクル継続実施。 ・生産ミズ廃棄の削減へ課題整理。
・産業廃棄物 (k g)	7,230	△6.0% (6,796)	△12.0% (6,362)	・目標△6.0%にて取組。 ・継続して実施する。 ・作業効率化の検証継続。 ・2026 年度目標見直し
3. 水使用量削減 (㎡)	186	△8.0% (175.8)	△10.0% (167.4)	・目標△8.0%にて取組。 ・継続して実施する。 ・機械裏配管等水漏れ確認。
4. 環境対応工法	—	金型整備・改修 新規金型の軽量化	金型整備・改修 新規金型の軽量化	・金型管理継続実施。 ・新規は環境工法取組。 ・金型修理の取組。 ・不要金型の返却・廃棄。
5. 環境教育	—	年 2 回の教育実施	年 2 回の教育実施	・年 2 回の環境教育の実施。 ・環境問題の教育・説明

※1 基準年度は、2017 年 4 月～2018 年 3 月（2017 年度）

※2 CO₂ 排出係数は、2016 年度実績 東京電力エナジーパートナー(株)調整後排出係数 0.474kg-CO₂/kWh を使用した。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無

当社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、これらへの違反はありませんでした。
 なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去 3 年間ありませんでした。
 また、外部環境情報（苦情・要望）受付及び対応はありませんでした。

適用環境関連法規等	適用される事項 (事業活動、施設、物質等)	遵守状況の確認・評価
廃棄物処理法 品川区廃棄物条例	事業系一般廃棄物	事業系廃棄物シール使用 問題無し
東京都環境確保条例（81条）	工場認可	届出・標識等確認 問題無し
騒音規制法・振動規制法	プラスチック成型機 9 台	届出確認 問題無し
東京都下水道条例	工場の下水排水	現場確認 問題無し
フロン排出抑制法	工場の業務用エアコン 2 台	点検実施・保存 問題無し
廃棄物処理法	産業廃棄物	「合せ産廃」として排出 問題無し
消防法	防火管理者は該当しない	該当無し
欧州 RoHS 指令	成形材料・副資材	指定材料使用・資料保管
欧州 REACH 規則	成型材料・副資材	指定材料使用・資料保管

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2023年から2024年、新型コロナウイルスへの警戒が薄まる中、ロシアによるウクライナ侵攻膠着化、イスラエルのパレスチナ自治区ガザ侵攻と世界情勢は更に不穏な空気が広がりつつあります。

日本の気候変化も著しく環境が更に変化する中、エコアクション21にどのように反映されたでしょうか。

今期2023年度は生産活動では分野を問わず減速・停滞状況が続いています。2年前の各種大幅増産を経て今なお在庫過多、加えて中国経済の停滞による生産停滞は経済のグローバル化を物語っています。弊社売上高でも先期比較で約12%の減少となりました。

環境経営目標を見ると基本8項目全ての目標を達成しましたが、やはり生産活動の停滞が大きく反映される結果となりました。

二酸化炭素排出量は電気・ガソリン合わせて26%減少、産業廃棄物では63%減少と共に先期を越える削減幅を示しています。

今期削減傾向は先期と同じく、

- ① 増産による在庫過多、国内設備投資の減速による在庫調整の継続
- ② 中国経済の停滞等、国外要因による生産活動全体の著しい減速
- ③ 国内の人件費や運送費、諸費用の上昇圧力、各社材料・生産費用の上昇による発注控え

といった要素が大きく現れています

弊社生産活動では各項目と連動する機械稼働率が60～70%と先期比較でも10%程度減少しています。現状がどこまで続くかは不透明ですが、環境経営目標の計画見直しが必要となりました。

各種エネルギー費用や廃棄物処理費が上昇していますが、生産量減により上昇による費用増加がかえって見えにくくなっています。

まずは生産現場から、廃棄物発生を抑えるための思考・行動を改め、無駄の少ない生産活動へ取り組んで参りましょう。

以 上